

F42C 信管（爆破薬包の点火装置 F 4 2 B 3 / 1 0 ; 化学的事項 C 0 6 C); 安全解除機構または安全機構（信管の組み立て F 4 2 B 3 3 / 0 2 ; 信管の中へ，または中から，の火管の装着または取り外し F 4 2 B 3 3 / 0 4 ; 信管用容器 F 4 2 B 3 9 / 3 0) [5]

サブクラス内の索引

信管作動の原理

衝撃	1/00
液体の接触	3/00
液体の圧力	5/00
機械力	7/00
非電気時限信管	9/00
電気信管	11/00
近接信管	13/00
複動信管	9/00
弾薬の形に特徴のある信管	14/00
安全解除または安全機構	15/00
信管設定	17/00
その他の細部	19/00
検査，試験	21/00
このサブクラスの他のグループに分類されない主題事項	99/00

1/00	衝撃のみで作動する信管，すなわち着発信管
1/02	・ 信管内部に撃針をもつもの
1/04	・ ・ 衝撃を受けた部品の慣性により作動するもの
1/06	・ ・ ・ 全方向衝撃用
1/08	・ ・ 信管の発火後遅延作用のあるもの（時限信管 F 4 2 C 9 / 0 0 ）
1/09	・ ・ 弾薬または弾頭を空中に発射するための推進薬を発火させる信管，例．反発発射体におけるもの [5]
1/10	・ 撃針のないもの
1/12	・ ・ 信管の発火後遅延作用のあるもの（時限信管 F 4 2 C 9 / 0 0 ）
1/14	・ 突出した部分により地面または標的から定められた距離で作動するもの
3/00	液体，例．海水，に接触することにより作動する信管（ F 4 2 C 5 / 0 0 が優先；時限信管 F 4 2 C 9 / 0 0 ）
5/00	所定の状態の流体圧力により作動する信管
5/02	・ 気圧によるもの
7/00	所定の機械力，例．張力，ねじり力，圧力，の利用により作動する信管（弾薬の衝撃によるもの F 4 2 C 1 / 0 0 ，所定の状態の流体圧力によるもの F 4 2 C 5 / 0 0 ）
7/02	・ 接触信管，すなわち設置弾薬，例．地雷，と移動標的，例．人間，との間の機械的接触により作動する信管（ F 4 2 C 7 / 0 4 が優先）
7/04	・ ・ 弾頭に圧力を加えることにより作動するもの [5]

7/06	・ ・ ・ 更に気圧または水圧による遅延手段を含むもの [5]
7/08	・ ・ 解放形，すなわち弾頭からの圧力解放により作動するもの [5]
7/10	・ ・ アンテナ形 [5]
7/12	・ 複動の撃発信管，すなわち単一動作で発火準備および発火する信管，例．組み込まれた撃針または撃鉄を引くことによるもの（撃発雷管 F 4 2 C 1 9 / 1 0 ） [5]
9/00	時限信管；時限および衝撃または圧力を併用する信管；弾薬の時限自爆用信管
9/02	・ 機械作用による時限
9/04	・ ・ ばね発動機によるもの
9/06	・ ・ 流動物質，例．発射物，流体，の流れによるもの
9/08	・ 化学作用による，例．酸による，時限
9/10	・ 燃焼による時限
9/12	・ ・ 輪状燃焼素子によるもの
9/14	・ 複動信管
9/16	・ ・ 弾薬の自爆用
9/18	・ ・ ・ スピン率が定められた限度以下に落ちるとき，例．ばねの力が遠心力作用口クの固定作用よりも強いもの [5]
11/00	電気信管（近接信管 F 4 2 C 1 3 / 0 0 ；電気火管 F 4 2 C 1 9 / 1 2 ）
11/02	・ ピエゾ効果のある結晶体によるもの
11/04	・ 電流の感応によるもの
11/06	・ 電流回路によって遅延するもの
13/00	近接信管；遠隔から点火する信管
13/02	・ 光線または類似の放射線の強さにより作動するもの
13/04	・ 電波により作動するもの
13/06	・ 音波により作動するもの
13/08	・ 磁場の変化により作動するもの
14/00	弾薬の種別または形式に特徴のある信管（ F 4 2 C 1 / 0 0 ， F 4 2 C 1 3 / 0 0 ， F 4 2 C 1 5 / 0 0 が優先） [5]
14/02	・ 手榴弾用 [5]
14/04	・ 魚雷，機雷または爆雷用（感應機雷 F 4 2 B 2 2 / 0 4 ） [5]
14/06	・ 投下爆弾用 [5]
14/08	・ 地雷用 [5]
15/00	信管の安全解除機構；信管または装薬の過早発防止用安全機構
15/16	・ 安全のために撃針を作動部よりはずすもの（ F 4 2 C 1 5 / 4 0 が優先）
15/18	・ 火工品または火薬系列の部材用担体が動かされるもの（ F 4 2 C 1 5 / 4 0 が優先） [5]
15/184	・ ・ 滑動担体を用いるもの [5]
15/188	・ ・ 回転担体を用いるもの [5]

F 4 2 C

15/192	・ ・ ・ 発射体の縦軸に平行な平面で回転し うるもの [5]	17/02	・ 信管設定用かぎ
15/196	・ ・ ・ ・ 担体への遠心力または慣性の作用 によるもの、例．担体が偏心的に取付け られたおもりまたは重心の偏心を有する もの [5]	17/04	・ 電気信管用 [5]
15/20	・ 信管を安全解除するために安全針または かんぬきを抜くもの、例．撃針から抜く もの (F 4 2 C 1 5 / 4 0 が優先)	19/00	信管の細部 (安全解除機構、過早発防止用 安全機構 F 4 2 C 1 5 / 0 0)
15/21	・ ・ ばね作用の使用 (F 4 2 C 1 5 / 2 3 が優先) [5]	19/02	・ 信管の本体；信管の外筒
15/22	・ ・ 遠心力の使用 (F 4 2 C 1 5 / 2 3 が 優先)	19/04	・ 保護キャップ
15/23	・ ・ 曲げやすいリボンまたはテープを巻き 戻すことによるもの [5]	19/06	・ 特に電気信管に使用する電氣的接触部品
15/24	・ 安全または安全解除作動が慣性により行 なわれるもの (F 4 2 C 1 5 / 1 9 6 , F 4 2 C 1 5 / 2 0 が優先)	19/07	・ ・ 発射体または飛しょう体のための頭部 接触 [5]
15/26	・ ・ 遠心力の使用	19/08	・ 火管 (爆破薬包用点火装置 F 4 2 B 3 / 1 0) ; 起爆筒
15/28	・ 流動物質、例．弾丸、流体、の流れによ り作動するもの (F 4 2 C 1 5 / 2 6 が 優先)	19/085	・ ・ 無薬きょう弾薬用火管 [5]
15/285	・ ・ 信管外筒内に貯蔵されるもの [5]	19/09	・ ・ 中空装薬を含む火管または起爆筒 [5]
15/29	・ ・ 流体振動により作動するもの、動的流 体圧力により作動するもの、例．ラムエ アで作動するもの [5]	19/095	・ ・ 弾頭のまわりに配置された多数の火管 または起爆筒が指向性の爆発効果のため 選択されるもの [5]
15/295	・ ・ タービンまたはプロペラにより作動す るもの；そのための装着手段 [5]	19/10	・ ・ 撃発雷管
15/30	・ ・ 推進ガスの、例．推進薬またはロケッ ト原動機から引き出されたもの	19/12	・ ・ 電氣的のもの
15/31	・ ・ 信管内の火工品または爆薬の燃焼によ り起るもの [5]	19/14	・ ・ ・ 撃発式としても使用できるもの [5]
15/32	・ 流体圧の変化により作動するもの (F 4 2 C 5 / 0 0 , F 4 2 C 1 5 / 2 9 が優 先)	21/00	信管の検査；信管の試験
15/33	・ ・ 真空または圧力容器の破壊によるもの [5]	99/00	このサブクラスの他のグループに分類され ない主題事項 [8]
15/34	・ 安全または安全解除作動が火管と主装薬 との間の火工品または火薬系列の遮断部 品により行なわれるもの (F 4 2 C 1 5 / 1 8 , F 4 2 C 1 5 / 4 0 が優先)		
15/36	・ 安全解除がある要素の燃焼または溶融に より行なわれるもの (F 4 2 C 1 5 / 3 1 が優先)		
15/38	・ 安全解除が化学作用により行なわれるも の (F 4 2 C 3 / 0 0 が優先)		
15/40	・ 安全または安全解除作動が電氣的に行な われるもの		
15/42	・ ・ 遠隔場所から、例．制御された機雷ま たは機雷海域用 [5]		
15/44	・ 信管の安全解除後、例．発射後、信管を 安全化または無能化する装置 [5]		
17/00	信管設定装置		